

学校教育目標

- ・よく考える子
- ・共に生きる子（重点目標）
- ・最後まであきらめずにやりぬく子

学校教育目標をもとにした具体的な子どもの姿

- 考えて表現したり、行動したりできる子
- 受容したり、折り合いをつけたりできる子
- 目標に向けて努力を続けることができる子

学級経営・専科経営の基本的な方針

- 1 友だちや仲間を思いやる気持ちや違いを認め合う大切さについて実感をもって学べる場にしよう。
 - ① 特別の教科 道徳、学級活動を中心にした実践を積み重ね、教員全員で共有しよう。
 - ② 道徳の時間での役割演技、構成的グループエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニング、課題解決型のゲーム（プロジェクトアドベンチャー）を積極的に取り入れてみよう。
- 2 子どもたちの思いや願いを受けとめ、あたたかく受容的な学級集団をつくろう。
 - ① 子どもたちを教室で迎え、朝の会では一人一人の子を呼名して、健康状態を確認しよう。
 - ② 間違えることは悪いことではないことを価値付け、間違いに教員が共感しよう。
- 3 子どもたち一人一人が「分かった」「できた」と感じられる学習活動になることを目指そう。
 - ① 子どもが「やってみようかな」「やってみたいな」と思えるような導入や問いかけをしたり、デジタル教科書や1人1台端末を活用したりしよう。
 - ② 子どもの得意なことや頑張りたいことを大切に、その子なりの学び方ができるようにしよう。

学校経営（学校づくり）のゴール

子どもたち一人一人が安心して過ごし、自分らしく成長できる居場所がある学校づくり

令和7年度、特に大切にしたいこと（教員）

子どもたちの行動の結果のみを取り上げて評価するのではなく、どんな気持ちで取り組んでいるのか、過程や背景を大切に、その良さを認めて価値付け、方向付けること。

～過去やマイナス面に注目するのではなく、現在（未来）やプラス面に着目しよう！～

良い事実を積み重ねる

力を出し切らせる

「頑張ろうとする・頑張っている〇〇さんを全力で応援するからね」
「〇〇さんの良いところをいっぱい見つけるからね」
「〇〇さんのこんな姿がすてきだったよ」

授業で、特別活動で、
あいさつで、そうじで…

6年生は学校の顔！
高学年には憧れ、下学年にはいたわりを

令和7年度、大切にしてほしいこと（子どもたち）

- （と） 友達を大切に…学校が楽しくなる大切な存在
- （と） 取り組む姿勢を大切に…どんなことにも一生懸命に
- （ろ） 廊下の歩き方を大切に…安全に気持ちよく過ごすために
- （じ） 時間を大切に…落ち着いた一日を過ごすために
- （じ） 自分を大切に…頑張った自分、間違えた自分、どの自分もかけがえのないもの